

リレー記事 No.103

マイクロプラスチックって？

私たちの身の回りには、プラスチックでできた様々なものがあります。形や色を自由に変えることができ、変質しにくいという特徴のおかげで、商品そのもの以外に、固形物や液体を入れる容器などプラスチック製品にあふれています。ただ、プラスチックのプランターを長年使っているとパリッと割れてしまうように、長い間、紫外線を浴びると劣化するという弱点があります。



砂浜に打ち上げられた漂着物にはプラスチック製品が多いのに驚きますが、海洋ごみの約70%はプラスチックごみだそうです。海鳥や魚など野生動物がごみをエサと間違えて飲み込んでしまうという問題がありますが、もう一つ、心配されているのがマイクロプラスチックの影響です。

長い間、海を漂うプラスチックごみが熱や紫外線でボロボロに割れて5mm以下の小さな破片になったものをマイクロプラスチックというそうです。厄介なことに、このマイクロプラスチックは油や汚染物質を吸着しやすいという難点があります。1000分1mmの大きさのものが、プランクトンや魚や貝から発見されているということです。すでに私たちの食卓にも届いてるかもしれません。



▲エコけんのごみ拾い

海に漂うマイクロプラスチックは、小さ過ぎて回収が難しいそうです。海岸の漂流物を見るとアジアの国のプラスチックもありますが、まだまだ日本のものもたくさんあります。私たちにできることは、ごみのポイ捨てをしない、使い捨てのプラスチック製品の使用をできるだけ控えることでしょうか。そして、プラスチック製品を買ったら、責任をもって分別したり処分したりすることが大切です。やはり、"3R~Reduce, Reuse, Recycle"の中でもReduce=減らすが一番身近ですね。



<<Ms.W>>

エコけん28年度 いろいろ報告

久留米環境カレッジ エコ活のススメ! 《全6回》



▲第1回 「なぜ、エコ？」

～学ぼう！伝えよう！エコのこと～

- 学びコース（11月～3回）
 - ステップアップコース（2月～3回）
- エコ活にチャレンジが始まります。

学びコースでは、家庭から排出されるCO₂の出所別で対応策を考えたり体験してもらいました。後半のコースでは、参加者が伝え手となるために、座学だけでなく普及現場の体験も予定しています。

《S》

かえっこ出前 ～in宮の陣～



9月25日（日）・3月12日（日）

今年度オープンしたばかりの宮の陣クリーンセンター（環境交流プラザ）で実施です。エコけん版かえっこは、おもちゃの循環に加えてクイズラリーでエコ心を育て、みんなが楽しく参加できる場づくりを目指しています。

“自分で考えて決める”かえっこは、子ども達が生き生きしています。

《MS. W》

福岡県 3R協働推進事業

大人のためのリサイクル見学会

- 北コース：11月17日
イオンモール福津～古賀清掃工場
- 南コース：11月30日
ブリジストン久留米工場～おおき循環センター

大人を対象とした見学会は3年目の受託になります。リピーターも数名おられ、3Rに興味関心のある方が、県内の広域より参加してくださいました。この後、各地域での活動にも生かしていただけると感じています。



▲おおき循環センターのバイオガスプラント

《Yっち》

「ハッピーすごろく」できました

エコけんは、より多くの方が、不特定の人のために、自ら「チカラを持ち出すこと」が、地域ひいては社会を持続可能にしていく手段のひとつだと考えています。しかしその「チカラの持ち出し(社会貢献)」を、ひとりひとりが「心地よい」と感じられなければ、その広がりや継続は難しいとも感じています。



私たちのまちを
私たちの手で



さてどうしたものだろうと困っていたところに、社会貢献が幸せとつながっているらしいという耳より情報を得ました。きっと幸せは誰にとっても心地よいに違いありません。

そこで私たちは、そのことを、力まずに伝えられるツールが作れたらいいな、と思いました。しかしまさに「言うは易し、行うは難し」でした。

完成を目指し、ミーティングで広く意見や感想を頂戴したり、スタッフによる再三の検討など、1年に渡る紆余曲折を経て、やっとこのたび新作「ハッピーすごろく」をお披露目できるまでたどり着きました。



幸せは個人の問題だよ、と考えられる向きもあることでしょう。しかし、まずはできたてのすごろくで遊びながら「幸せ」について振り返ってみられませんか。初披露は裏面のしろくまカフェにておこないます。皆さまのご来所をお待ちしています。

《S》

エコけんバスハイク参加者募集!!

3月6日 月

集合 8:40 JR古賀駅東側
解散 16:00(予定) 同上

募集：15名
参加費：1,000円（昼食代別途）
持参品：エコバッグ
申込：☎ 092-944-6450
3月2日（木）17:00締切

エコけんの研修に
参加しませんか。



久留米市南部浄化センター

■■■■■■ 行き先 ■■■■■■

1. 久留米市南部浄化センター
施設のバイオマス利用や小水力発電職員さんに伺います。
2. 道の駅うきは
昼食とお買い物を楽しみましょう
3. 吉井町まちあるき(おひな様イベント開催中)
地元のボランティアガイドさんに案内してもらいます。



未来を創るうインタビュー

No.53 アットホームはりきゅうひの

日野 智之 氏

古賀駅前の商店街、エコけんハウスのご近所でもある「アットホームはりきゅう ひの」の日野智之さんにお話を伺いました。日野さんは、エコけんの Facebook をご覧いただいた事をきっかけに寄付会員にお申し込みいただいたエコけん会員さんでもあります。Facebook では、学校への出前授業で頑張っている様子が印象的だったそうです。



Q. 未来のために、今、何が重要だとお考えですか

A. 『元気な大人』づくり

未来をつくり出す子ども達のために、親など大人達が元気で楽しい姿をみせないといけない。元気だと、話す言葉も変わっていきます。子ども達はそれをしっかりと見て育っていると思います。

Q. そのためにご自身が暮らしの中で心がけていることがあれば聞かせてください。

- A. ・「人に喜んでもらえるために」を考えます。
・地域の未来の為に活動している方々に、少しづつですが協力できる事を考えています。
・健康維持のためにできる“セルフケア”を提供する場に参加したり、そのような場を探してがんばっています。

未来を創る私の思い

「人に喜んでもらえるために」
今できることを全力で取り組む

週1回の福津市「ふくとびあ」のディサービスや、在宅の患者さんの訪問治療など、車イスを利用されている方を診察されることが多いそうです。コミュニケーションがとれるのか最初は心配されたそうですが、患者さんの明るく素直に頑張ってくれようとしてくれる姿に、伝わってくるものがあると話されました。ハンディキャップのあるなしに関わらず、どんな人も住みやすい町になるよう、できることから行動しておられる姿に、新年からすがすがしい気持ちになりました。

《Yっち》

未来を創るインタビュー

No.54

福岡女子大学

松田 有紀子 氏

体験型環境学習の効果検証を卒論のテーマにして、何度かしろくま教室の授業を参観された福岡女子大学の松田さんにお話を伺ってきました。

松田さんは、国際文理学部環境科学科で環境生活学を学んでおられます。高校までは環境をあまり意識しなかったそうですが、お母さんに言われて、仕方なく電気を消したり、節水したりしていたことがエコだとわかったそうです。また、研究室の先生と“うちエコ診断士”の資格をとり、親戚や友達の診断をして、環境配慮の行動について話すきっかけとしている頼もしい理系女子です。

Q. 未来のために今何が重要だとお考えですか。

A. 温暖化緩和のために、ひとりひとりの小さな積み重ねのエコ行動が大切。

Q. そのためにご自身が暮らしの中で心がけていることがあれば聞かせてください。

A. お金の節約にもなりますが、ペットボトルでなく水筒を持ち歩いたり、着なくなった服を回収してくれる店で洋服を買ったりしています。



未来を創る私の思い

明るい未来のために、周りの人にも環境について知ってもらえるよう積極的に行動していきたい。

松田さんは、この春より、住宅設備機器メーカーに就職されるそうで、大学で学んだことを活かせる職場のようです。彼女のような学生さんが社会に出て、エコ暮らしの実践者がどんどん増えていくと地球の未来にも希望が持てると明るい気持ちになりました。卒論の結果も楽しみです。

《Ms. W》



ぼらんず (毎月のボランティア清掃は、ホームページのスケジュールに掲載)

2月 7日 (火) 9:30~ エコロの森周辺でゴミ拾いします。

雨天中止

詳しくはお問合せください。



エコけんが心を込めて開く、年に一度の交流カフェ。
寒い時期ではありますが、みんなで集まってわいわい楽しみませんか。
名物の手作りスイーツもお楽しみに。

Happy



「しろくまカフェ」 開催のお知らせ



スイーツ+お茶 おしゃべり



今回の目玉は、新作のすごろくワークショップです。すごろくのテーマはズバリ「幸せ」。幸福感とプチ貢献は、繋がっているらしいと分かったので、みなさんと考えてみたくて作ってみました。ご参加お待ちしております。


2/19 日 14:00 ~ 16:00

参加費無料 要予約

リーパスプラザこが 交流館洋室 303

定員 30 名

認定NPO法人

 **エコけん**

〒811-3101 福岡県古賀市天神1丁目19-21
[TEL/FAX] 092-944-6450
[mail] ecoken@npo-ecoken.sakura.ne.jp
[HP] <http://www.npo-ecoken.sakura.ne.jp/>



ecoken